

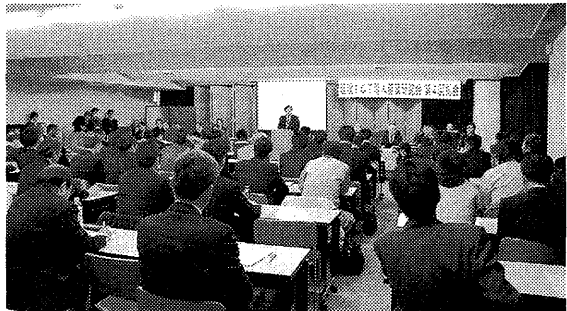
ICT普及研総会

TS出来形管理は一般化

整備局 現場見学会も全国一

産官学が連携して建設ICT（情報通信技術）の普及を目指す、「建設ICT導入普及研究会」の第4回総会が6日、名古屋市中区の名古屋合同庁舎第2号館で開かれた。写真。議事では、2013年度から1万立方メートル以上の土工でTS（トータルシステム）出来形管理が一般化したことや13年度は施工希望型工事でも115件中108件と、ほぼすべてでTS出来形管理技術を活用していることが報告された。

冒頭、同研究会会長の八鍬隆中部地方整備局長は、同局が全国に先駆け、08年11月にICTの研究会を設置したことなどを紹介した上で、「中部整備局はICTを使った工事（13年度約580件）、I



CT現場の見学会（同延べ33回）の件数がともに全国で一番となっている。今後もICTを活用し、効率的かつ効果的に公共事業を進めてほしい」とあいさつした。

次いで、稲垣孝国土交通省総合政策局公共事業企画調整課企画専門官が「情報化施工推進戦略について」、青山憲明国土技術政策総合研究所高度情報化研究センター情報基盤研究室主任研究官が「橋梁における3次元モデルの流通と利活用」と題し、全国の取り組みをそれぞれ報告した。

続いて、副会長の平出純一中部整備局企画部長が同局の取り組みを説明。会員総数は1月末時点で392名で、ICT技術の早期導入・普及に向け、「設計施工見直し」

【建設ICT】

- | | | | |
|----------|--------|--------|----|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 | 日勢 |
| 4. 読売 | 5. 朝日 | 6. 毎日 | 伊勢 |
| 7. 産経 | 8. 朝日 | 9. 毎日 | 中伊 |
| 10. 中部経済 | 11. 建設 | 12. 日本 | 日刊 |
| ③建設通信 | 14. 信濃 | 15. 日本 | 海 |
| 16. 建設工業 | | | |

平成26年2月10日（朝・夕）P7

「技術普及」「建設マネジメント研究」の3ワーキンググループ（WG）、「情報化施工推進戦略について」、青山憲明国土技術政策総合研究所高度情報化研究センター情報基盤研究室主任研究官が「橋梁における3次元モデルの流通と利活用」と題し、全国の取り組みをそれぞれ報告した。

続いて、副会長の平出純一中部整備局企画部長が同局の取り組みを説明。会員総数は1月末時点で392名で、ICT技術の早期導入・普及に向け、「設計施工見直し」

「技術普及」「建設マネジメント研究」の3ワーキンググループ（WG）、「情報化施工推進戦略について」、青山憲明国土技術政策総合研究所高度情報化研究センター情報基盤研究室主任研究官が「橋梁における3次元モデルの流通と利活用」と題し、全国の取り組みをそれぞれ報告した。

続いて、副会長の平出純一中部整備局企画部長が同局の取り組みを説明。会員総数は1月末時点で392名で、ICT技術の早期導入・普及に向け、「設計施工見直し」

（案）を試行した道路、河川各工事の概要などを紹介。設計段階でのデータが工事段階の完成断面形状と一致しない場合、施工者によるデータ修正が発生するため、いつ、それが、どの段階でデータを作成するのが適切か検討する必要があるといった、運用上の課題を報告した。

同WG調査・計画・維持管理段階ICT導入技術検討PTからは、CIMの試行実施について情報提供した。同局では、名古屋道事務所の15号豊田南BP横山地区道路詳細設計業務（受託者・オリエンタルコンサルタンツ）でCIM業務を取り入れていることを報告。工事では、浜松河川国道事務所の佐久間道路第1トンネル（蒲川地区）（施工者・大林組）で、CIMを活用していることなどを紹介した。